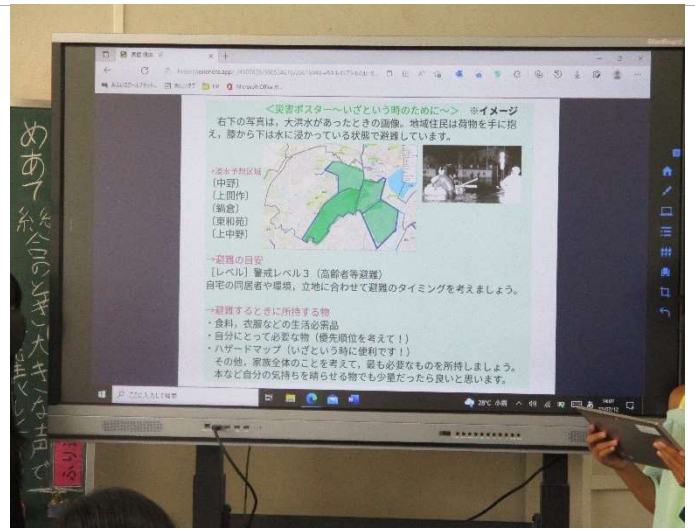




7月14日(木曜日) Clean Mission in my Town 船木小学校

7月14日(木) 船木小学校では、5・6年生全員が、「Clean Mission in my Town」に取り組みました。これは、児童が保護者、地域の皆様に呼びかけて、「ふるさと船木」を一緒にきれいにする活動です。遡ること4か月、船木小学校では、5・6年生が、4つのグループに分かれて学運協の皆さんと熟議を行いました。テーマは、自分たちの学校をどんな学校にしたいか、また、日頃、お世話になっている地域の皆さんに感謝しつつ、地域の為に何ができるかについてです。この熟議が年度が改まり、この度の貢献活動につながりました。



7月12日(火曜日) 学運協で地域づくり計画について熟議開催 厚南小学校

7月12日(火) 厚南小学校の6年生全員が、5つのテーマ(「高齢者」「子どもの健全育成」「地域の活性化」「健康づくり」「安心・安全なまちづくり」)に分かれて、自分たちに何ができるかという視点で、学運協委員さんや地域の各種団体の方と熟議を行いました。乳児を対象とした「ハイハイレース」の開催や、公園の安全チェック、高齢者とのふれあいイベントの開催等、多様な意見交換がなされました。出された意見は、支援チームとの連携により、厚南地区地域づくり計画の会で協議され、可能な範囲で計画に反映されていくこととなります。地域づくりについて当事者意識が育つ取組が進んでいます



7月11日(月曜日) 観光ガイドに挑戦 万倉小学校

7月11日(月)万倉小学校の6年生が、楠こもれびの郷で、万倉地区の名所を紹介する観光ガイドを展開しました。総合的な学習の時間で万倉の歴史や伝統について調べ、まずは学校運営協議会の方々に聞いていただき、修正を加えていざ本番です。お客さんに「万倉の観光ガイド」を聞いていただけますかと声をかけ、「国司 信濃公と天龍寺」「宮尾八幡宮」「信田ノ丸城跡」「赤間硯」についてタブレットを活用し説明しました。「え?そんな所があるの?今度いってみたい!」と喜ばれていました。万倉の一日観光大使として活躍しました。



7月11日(月曜日) 中学生の学ぶ姿を見学 上宇部中学校・琴芝小学校

琴芝小学校の6年生が、来年、多くの児童が進学する上宇部中学校の3年生の授業中の様子を見学しました。中学生は落ち着いて真剣に授業に臨んでいて、これから中学生となる小学生が、この時期にその姿を直接見ることは大変貴重な経験となりました。小中連携を進める中学校としても、小学生の憧れの先輩として模範を示すことはとても意味のある取組です。6年生は、1年後には逆に憧れとなれるよう、今後の小学校生活をしっかりと過ごしてほしいと思います。



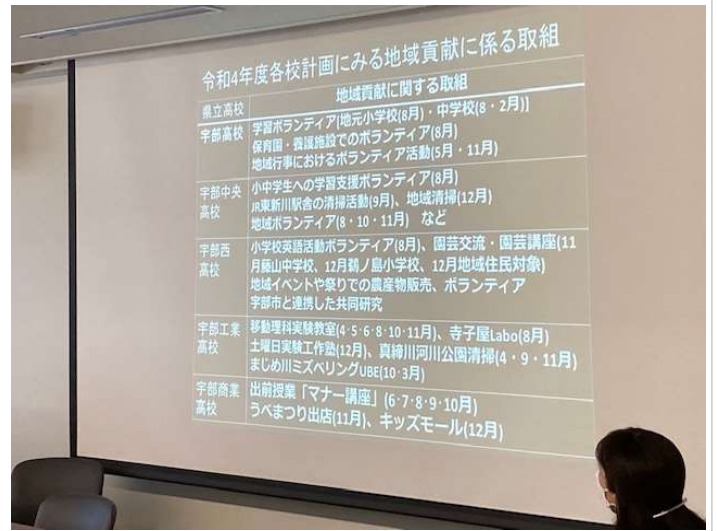
7月9日(土曜日) 子ども食堂での自主学習会に高校生も参加
東岐波地区

東岐波地区では、日の山レストラン（子ども食堂）開店までの時間に、自分で勉強したい物を持って来て勉強をする「東岐波っ子自主学習会」を行っています。学校運営協議会委員をはじめ、ボランティアで子ども食堂のお手伝いに来られた宇部高校の生徒さんも学習会のお手伝いをさせていただきました。日の山レストランは開店2周年！落語と手品のお楽しみイベントもあり、大変盛り上がりました。



7月8日(金曜日) 1・2年 八百屋開店
万倉小学校

万倉小学校の1・2年生が、地域の皆さんと一緒に育てた夏野菜が収穫の時を迎え、7月8日（金）に、楠こもれびの郷で「万倉小学校1・2年やおや」を開店しました。自分たちで新鮮野菜の袋詰め作業をし、値札付けもしました。地域の皆さんが軽トラックで運んでくださり万倉小から店員さんがご出勤、そしていよいよ販売開始です。「いらっしゃい、安いよ！」の声に八百屋さんは長蛇の列となりました。野菜の作り方を学び、お店屋さんをすることでお客さんとの会話も楽しみました。レシートもオリジナル「1・2年やおや」です。（レジの上）



6月30日(木曜日) 地域支援チームとの連携・高等学校との連携
宇部市地域連携教育戦略会議

本市では、地域連携教育の取組の課題の把握とその解決に向け、県教委地域連携教育推進課や県エキスパート、小中学校長会、市民活動課、学校教育課、社会教育課が一堂に集まって協議をする「戦略会議」を年に数回開催しています。この日の第1回会議では、本市の本年度の8つの重点的取組や小中学校の取組、市民活動課としての地域活動推進の状況について報告し、協議を行いました。「子供の成長を真ん中に置いた連携」「市の地域・福祉支援チームとの連携の強化」「地域学校協働活動本部の在り方」「高等学校との連携」などについて、貴重な示唆をいただきました。



6月24日(金曜日) 地域づくりと地域学校協働活動
宇部市地域コーディネーター研修会

地域と学校の協働活動のコーディネートに必要な知識や技術の向上を図るとともに、学校教育関係者や社会教育関係者の情報の共有、連携強化を図ることを目的とした研修会を常盤湖水ホールで開催しました。学校教職員や学校運営協議会委員、社会教育推進委員、ふれあいセンター職員など、約80人が参加しました。講義では、山口市阿東で、「住み慣れた地域で暮らし続けることのできるコミュニティづくり活動」を行っている「NPO法人ほほえみの郷トイトイ」事務局長の高田さんから、表題にあるテーマで大変参考になるお話をいただきました。講義を受けて行ったグループ協議は、各地域でこれからできそうなことについて、大変熱い話し合いが行われました。子供ファーストで、地域と学校のWinWinの取組を「地域の大人が本気になって」取り組んでいきましょう。



6月22日(水曜日) 6年生全児童と、学校運営協議会で意見交換
東岐波小学校

今年最初の保護者授業参観と学校運営協議会が開催されました。5学年は、総合的な学習で取り組んでいる米作りの田植えの様子を公開し、多くの保護者が参観されました。4校時は6年生が学運協の委員と意見交換をしました。本校は今年、創立150周年を迎え、プロジェクト第1弾として、「東岐波小学校をよくするためには」というテーマで、委員会別に協議をしました。児童が委員と直接意見交換するのは初めての取組でしたが、これをきっかけにして、児童の思いを取り入れた東岐波小の学運協がより充実していくことを期待しています。小学校でも、学運協への児童参加の取組が続々と始まっています。



6月21(火曜日) 「①校区をもっと元気にするために、②もっと好きになるために」
厚東川中学校

厚東川中学校では、生徒総会で、表題のテーマについて全校生徒で話し合いをしました。各テーマについて、事前に考えてきた意見を出し合い、その中からさらに具体的に進めたい内容について、総会の場で話し合いました。テーマ①では「清掃活動」、「地域の人との関わり」、テーマ②では、「どのような地域のイベントに参加していくか」、「地域の目標やスローガンの設定」について意見を出し合いました。。今後は、今回出された意見を参考にして、生徒会の役員で具体的な活動を考えていきます。



6月16日(火曜日) コミスクだより「こうなんちゃんだより6月号」
厚南小学校

厚南小学校では、コミュニティ・スクールの取組を「こんなんちゃんだより」として、広く校区内に広報しています(学校HPにも掲載)。今月号では、見守り隊との対面式の様子と地域の安全マップが掲載されています。安全マップでは、地域の危険箇所や110番の家とともに、見守り活動をされている方を紹介しています。こうした取組により、子供たちと地域の方々がより“顔見知り”となり、しっかりと挨拶もできるようになるでしょう。



6月13日(月曜日) 家庭科(裁縫)で学習の支援
万倉小学校

5・6年生の家庭科で、「ひと針に心をこめて」という単元で、初めての裁縫に挑戦しています。個人差を考慮しながら一人ひとりの技能習得をめざして、地域の方のお力を借りることにしました。地域学校協働活動推進員の河崎さんをお願いして、万倉ふれあいセンターでも手芸の教室を開いておられる3名の方に学習支援ボランティアとして来校していただきました。子ども達の間に入り、玉結びに玉どめ、縫い取りに苦戦している児童に、優しく丁寧に教えていただきました。



6月7日(火曜日) これからの地域連携教育に期待すること
第1回地域連携教育担当者研修会(宇部市)

県教委主催の地域別の地域連携教育の担当者研修会を開催しました。市内の地域連携教育推進員、宇部市コミュニティ・スクール推進協議会委員、社会教育課担当者など27人が参加されました。県と市の所管説明に続き、県地域連携エキスパートの山口大学の松田靖教授による講義があり、「これからの地域連携教育に期待すること～地域づくり 人づくり つながりづくりに向けて～」と題する講義では、「周囲の大人がもっと『その気・本気』になることが大切である」など今後の地域連携への貴重な示唆をいただきました。



5月31日(火曜日) ミシンボランティア来校
東岐波小学校

「6年生家庭科『楽しくソーイング』～ナップザック作り～』に地域の方々13人を講師として迎え、ミシンの扱い方を教えていただきながら地域の方々と交流し、素敵な時間を過ごしました。児童たちは「詳しく教えてもらってよかった」や「近所の方が来てくださってうれしかった」と感想を振り返りに書いていました。



5月22日(日曜日) 3年ぶりの運動会 藤山地区

新型コロナウイルス感染症により2年間中止が続いた地区の運動会が3年ぶりに開催されました。感染対策のため半日日程ではありましたが、たくさんの方が参加され、スポーツを通して体力の向上を図り、地区の融和と信頼を高めるといった目的が達成されたのではないのでしょうか。運動会には、藤山中の地域元気応援隊の生徒の皆さん、藤山小の放送委員会の皆さんがボランティアで参加してくれました。



5月19日(木曜日) 学校運営協議会によるHP改善 原小学校

原小学校では、昨年度の学校運営協議会で、学校HPの充実について協議がなされ、技術的に詳しい委員さんが改訂に加わっていただくことになりました。新しいHPは、大変素敵なレイアウトとなり、児童の活動の様子もよく分かるようになりました。HPの更新も委員さんが積極的にかかわっていただいております、学校としても大変助かっています。また、「原地区のコミュニティ・スクールのリーフレット」なども作成され、学校の取組を委員として大変熱くサポートしていただいております。この日の学運協も熱い熟議が行われました。今後の原小学校に注目です！



5月17日(火曜日) オリーブの収穫体験とオリーブ茶のパッケージ作成
東岐波中学校

東岐波地区は温暖で日当たりのよい気候を利用して、東岐波里海再生の会がオリーブを栽培されています。東岐波中学校では、昨年、生徒ボランティアが収穫の体験をしました。また、オリーブの葉を使ったお茶の販売パッケージのデザインを美術部の生徒が作成しています。この度、中学生から80代の地域の方々が協力して行われているこの活動が新聞社の取材を受け、新聞に掲載されました。ほろ苦く清涼感のあるオリーブ茶は、道の駅やインターネットで販売しているそうです。



5月15日(日曜日) 岬みんなの倉庫
岬地区

「旧ふれあいセンターから移設した防災倉庫を、『岬みんなのそうこ』として、これからも大切に使おう！」と岬地区コミュニティ協議会が呼びかけられ、倉庫壁面へ絵を描きました。70名を超える児童生徒や保護者地域の方が参加しました。倉庫の壁の上半分は、今後、神原中学校の生徒が絵を書いていくそうです。完成した倉庫は、地域の宝として受け継がれいくことでしょう。



4月28日(木曜日) 社会教育推進委員の学校運営協議会への参加
二俣瀬小学校

本市の各地域には、社会教育推進委員会（社教推）という地域の社会教育や学校との協働活動を進める組織があります。年度の最初の学校運営協議会では、校長の学校運営の方針や年間の活動についての説明があります。学校の一年間を知る上では貴重な会ですので、本年度、社教推の委員さんにもオブザーバー参加していただくよう案内をしています。初めて学校の地域連携の取組を見聞きした委員さんからは、「このような協議が行われていたことを初めて知った。地域でもできることを進めていきたい。」という感想がありました。



4月21日(木曜日) 地域開設WEBサイトでの学校の情報発信
小野小学校

小野地域は地域おこし協力隊の梅沢さんが中心となって、地域の魅力を発信するWEBサイト「インフォメーションセンター おの」を開設しています。サイトでは、小野住民の活動の様子や観光案内、グルメ情報などが写真や動画で紹介されています。その中で、小野小学校の紹介とともに、学校の活動の様子が日々発信されています。最新ニュースでは、本日の4年生の授業の様子が紹介されています。地域とともにある学校作りと学校を核とした地域づくりの一体的な推進が具体的な姿で進められています。皆さんも是非ご覧ください。 <https://www.info-ono.jp>



4月13日(水曜日) 子どもたちの見守りをよろしくお願いします。
藤山小学校

新年度が始まりました。どの学校でも、4月8日の始業式の朝から交通の要所・危険箇所地域の見守り隊の方々の登校の見守り活動が再開しました。

藤山小学校では、コロナ感染症対策として1、6年生が参加して、見守り隊の代表者との対面式が行われ、6年生の代表児童が感謝の言葉を述べました。

年度始めは特に新1年生の登下校が心配ですが、見守り隊の方々のご活動により、児童も保護者も大変安心です。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



4月1日(金曜日) 課名が「社会教育課」に変わりました

4月から、課名がコミュニティスクール推進課から社会教育課に変わり、社会教育推進係とコミュニティスクール推進係の2係体制となりました。学校と地域の連携・協働にかかる業務は、コミュニティスクール推進係が担います。市役所は5月から新庁舎に移りますが、社会教育課を含めた教育委員会は、4月末までは従来の港町庁舎にあり、5月から新庁舎に移転します。電話番号は、新庁舎移転後も変わりませんが、ファクス番号が変更となります。